

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスcolor 五十川教室		
○保護者評価実施期間	令和7年1月10日 ～ 令和7年1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和7年1月10日 ～ 令和7年1月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者本人の主体性を尊重する関わり	バイステックの7原則を学び、日々意識しながら支援にあたっている。「怒らない」「叱らない」「大声を出さない」関わりを徹底している。	本人のニーズをなるべく叶えることができるよう、スタッフの配置の工夫や事前の計画について考えていく。
2	応用行動分析等、根拠に基づく関わり	専門的な知識を持って、行動の機能を分析し、適切な生活スキルを獲得できるよう関わっている。	機能分析だけでなく、二次障がいの予防も同時に考え、一人一人に合わせた支援を行なっていく。
3	ご家族が置き去りにならない関わり	ご家庭の事情やお仕事のご都合をお伺いし、なるべくご負担を減らせるよう、ご利用日数や送迎時間を工夫している	以前伺った状況から変化はないか、困っていることはないか、定期的に確認を行なっていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部イベントへの参加を積極的に行なえていない	安全に参加できる体制を整えることができていない	人員の確保や、内部研修での従業員のスキルアップ
2	定期的に保護者会を開催しているものの、お仕事の都合などで参加できない方へのフォローが不十分な場合がある	参加を希望されているが参加できなかった方のお話を伺う機会が少なく、保護者のニーズを受け取ることができなかった	希望される方への資料の配布や、より参加者が増えるような日程の調整を行なっていく
3	地域の子どもたちとの交流が少ない	外出を希望されない方は、地域の子どもたちと関わる機会を作ることができない	本人のご希望に合わせて、地域の子どもたちと関わる機会を作っていく。あまり前向きでなく、経験も少ない方には、外出をしたくなるような工夫をし、実際にどうするのかはご本人に決めていただく。